

科目名	到達目標		到達目標達成度					
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効
文学	到達目標1	古典に親しむ態度を養う。	79%	21%	0%	0%	0%	0%
	到達目標2	恋愛観・死生観・無常観など、古代から近代に至るまで連綿と流れる日本人の心情について理解する。	84%	16%	0%	0%	0%	0%
こころの科学	到達目標1	性格心理学の基礎的知見を修得する。	63%	31%	4%	0%	0%	2%
	到達目標2	社会心理学の基礎的知見を修得する。	65%	30%	3%	0%	0%	2%
	到達目標3	臨床心理学の基礎的知見を修得する。	58%	33%	4%	0%	0%	4%
国際政治と子どもたち	到達目標1	将来、子どもに関わる職業を目指す学生として、国際政治の中の絶対的弱者である子どもをめぐる現状について理解と関心を深める。	60%	40%	0%	0%	0%	0%
	到達目標2	国際的な諸課題と、自らの日々の生活や日本との関連性について理解し、国際社会の一員としての当事者意識を養う。	60%	35%	0%	5%	0%	0%
	到達目標3	国際政治における子ども達という視点から、国際的な問題に関する基礎的な知識を修得し、一般的な教養を深める。	65%	30%	5%	0%	0%	0%
サブカルチャーとメディア	到達目標1	サブカルチャーを通して現代日本の社会や文化を理解する。	73%	27%	0%	0%	0%	0%
	到達目標2	メディアを分析する方法を習得し、社会に対する科学的・批判的な思考力を培う。	64%	36%	0%	0%	0%	0%
	到達目標3	サブカルチャーやメディアとの関わり方について考察する。	68%	27%	5%	0%	0%	0%
海の生物学	到達目標1	海にはたくさんの生物がいる、ということを実感しよう。→ たくさん捕まえて、観てみよう。	88%	6%	0%	0%	0%	6%
	到達目標2	海産生物に関する知識を深めよう。→ 専門家である研究者達の講義を聞こう。	81%	13%	0%	0%	0%	6%
	到達目標3	海産生物の調理法をひとつでも多く習得しよう。→ 自ら進んで行動しよう。	75%	19%	0%	0%	0%	6%
人間と教育	到達目標1	誕生から終焉までの人の営みに関わる社会性の向上や専門性の向上には人との関わりが影響する。特に義務教育期における人間関係づくりはその後の後期中等教育期・高等教育期、そして社会生活においても影響を与えていく。そこで社会性を高め人間性豊かに生きぬく人生を歩む上での教育の役割を考え、自らの価値の再構築を図る。	63%	38%	0%	0%	0%	0%
	到達目標2	学生相互の話合いを通じて「生きること」や「教育」についての考えをまとめ、表現する力を養うとともに、自らの価値観の再構築を図る。	75%	25%	0%	0%	0%	0%
フード・サイエンスと健康	到達目標1	より良い「食生活」を提供することで、「人々の健康」に貢献する意識を高める。	42%	52%	6%	0%	0%	0%
	到達目標2	「食物」が「人体」に与える影響を、科学的に理解する。	35%	55%	10%	0%	0%	0%
	到達目標3	食や健康に関する情報が溢れる中で、必要かつ正しい情報を選択できる知識と考え方を取得する。また、科学の進歩により、科学的常識も変わってきたことも認識し、状況に応じた客観的な判断や選択ができる知識や考え方を身につける。	23%	61%	16%	0%	0%	0%
英語A	到達目標1	英語のセンスを磨く これまでの英語教育で学んだ基礎をもう一度確認し、使える英語、伝わる英語として発展させる。	51%	36%	10%	1%	1%	1%
	到達目標2	実際のコミュニケーションで役に立つ表現を身につける。	52%	36%	9%	1%	1%	1%
	到達目標3	試験対策 TOEIC(英語によるコミュニケーション能力判定試験)などの英語試験の知識を深め、対応できる英語力を養う。	49%	32%	12%	5%	1%	2%
体育理論	到達目標1	体育・スポーツの果たす役割や健康増進の重要性等についての認識を深める。	72%	27%	1%	1%	0%	0%
	到達目標2	健康生活調査等を通して、自己の健康生活の状態を客観的に評価し、改善のための課題を得る。	68%	31%	1%	1%	0%	0%
体育実技C	到達目標1	氷上でのスポーツの歴史を通して、氷上スポーツ種目の種類と道具について理解する。寒気での体力維持・増進と技術の向上、集団行動での規律・協調性・責任感等の育成を目指す。	-	-	-	-	-	-
エアロビックⅠ(ベーシック)	到達目標1	有酸素性の運動(エアロビクス)とエアロビックについて理解し、心拍数の変化、運動強度について認識する。エアロビックダンスを通して、身体表現の方法や指導と援助の方法について理解する。	100%	0%	0%	0%	0%	0%
エアロビックⅢ(キッズ)	到達目標1	有酸素性の運動エアロビックについて運動の実践を通して理解する。キッズ・ジュニアの身体表現の方法や援助について、指導できる技術を身につける。	100%	0%	0%	0%	0%	0%

科目名	到達目標		到達目標達成度					
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効
保育学	到達目標1	保育の基本的理念や子どもを育てることの意義を理解する。	100%	0%	0%	0%	0%	0%
	到達目標2	子どもの成長、発達の基本と親のかかわり、社会のかかわりについて理解する。	80%	20%	0%	0%	0%	0%
	到達目標3	保育をめぐる今日的課題について考察し、子どもの育ちを支える適切な態度を身につける。	80%	20%	0%	0%	0%	0%
家政学	到達目標1	家族形態の歴史と現状を把握し、家庭・家族の定義および機能を理解する。	60%	40%	0%	0%	0%	0%
	到達目標2	家庭経済と消費、生活の中の契約について理解し、責任ある行動力を養う。	60%	40%	0%	0%	0%	0%
	到達目標3	健康で安全な生活と住空間、ライフスタイルと住空間について理解する。	60%	40%	0%	0%	0%	0%
	到達目標4	生活を豊かにする創意工夫と実践的態度を養う。	70%	30%	0%	0%	0%	0%
スイーツマイスターⅢ	到達目標1	山梨県の特産物の知識を習得する。	65%	30%	4%	0%	0%	0%
	到達目標2	食材ごとの特性や地域性を理解する。	43%	52%	4%	0%	0%	0%
	到達目標3	山梨地域特産物を用いたスイーツ作り・加工食品作り。	83%	17%	0%	0%	0%	0%
	到達目標4	やまなし特産オリジナルスイーツの創造。	65%	26%	4%	0%	0%	4%

科目名	到達目標	到達目標達成度						
		達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効	
社会生活と健康	到達目標1	胎児期から高齢期までライフステージを通じた健康管理体制を理解する。	31%	51%	15%	0%	2%	2%
	到達目標2	わが国の社会福祉制度、福祉サービスの理念と内容を理解する。	22%	47%	25%	0%	4%	2%
生化学	到達目標1	生体を構成する物質、特に生命の基本物質であるタンパク質の構造と機能を理解する。	33%	60%	5%	0%	2%	0%
	到達目標2	生体内の化学反応に生体触媒として働く酵素の性質について理解する。	33%	55%	10%	0%	2%	0%
	到達目標3	糖質代謝を中心として、主要栄養素が生体内でどのように代謝されるか理解する。	38%	50%	5%	3%	2%	2%
食品学総論	到達目標1	食品の種類と成分に関する知識を習得し、食材の持つ成分特徴を説明することができる。	25%	49%	16%	0%	5%	4%
	到達目標2	食品の成分変化や機能性に関する学びを、食品を取り扱う際に説明できる。	24%	47%	22%	2%	2%	4%
	到達目標3	食べ物と健康についての知識を広め、食品と健康が密接に係ることを説明することができる。	20%	55%	15%	2%	2%	7%
食品衛生学総論 (Aクラスのみ)	到達目標1	微生物一般と有害微生物について基礎事項を理解し、分類することができる。	26%	56%	15%	4%	0%	0%
	到達目標2	食中毒について原因とその対策を理解し、原因食品や原因菌を特定することができる。	37%	37%	15%	7%	0%	4%
	到達目標3	食品の汚染とその危険性を理解し、生活環境を整備することができる。	41%	44%	11%	0%	4%	0%
	到達目標4	食品衛生関係法規に関する知識を習得し、説明することができる。	26%	44%	11%	11%	0%	7%
食品衛生学実験	到達目標1	食品衛生分野の基本的な検査法を学ぶことにより、本分野の特性を把握する。	44%	47%	7%	0%	0%	2%
	到達目標2	食品衛生分野の実験的な実験技術を習得する。	42%	51%	5%	0%	0%	2%
	到達目標3	衛生管理を指導する者としての知識・技術・問題解決能力を養う。	42%	53%	3%	0%	0%	2%
臨床栄養学各論	到達目標1	各種疾患別に身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養マネジメントについて説明できる。	32%	49%	14%	2%	0%	3%
	到達目標2	疾患の病態に対応した栄養管理について理解を深め、説明することができる。	47%	44%	5%	0%	0%	3%
臨床栄養学実習	到達目標1	栄養成分別コントロール食(エネルギー・糖質・脂質・たんぱく質・食塩)の適応疾患に対応する献立の作り方を習得し、実践することができる。	53%	39%	2%	2%	0%	4%
	到達目標2	消化機能低下に対応する食形態と調理方法を説明できる。	55%	33%	8%	0%	0%	4%
	到達目標3	食品交換表の使用法を理解し、説明できる。	47%	41%	6%	0%	0%	6%
	到達目標4	その他疾患に対応した栄養管理について説明できる。	47%	37%	2%	0%	0%	14%
栄養指導論	到達目標1	栄養指導の必要性を理解する。	34%	47%	17%	0%	2%	0%
	到達目標2	栄養指導の知識と方法を習得する。	21%	57%	19%	2%	2%	0%
	到達目標3	健康保持のための基本的な栄養指導について理解する。	36%	42%	21%	0%	2%	0%
	到達目標4	自己の栄養士像を育てる。	28%	43%	9%	2%	2%	15%
栄養教育論	到達目標1	食事調査の意義、種類、方法について理解する。	61%	33%	5%	0%	0%	0%
	到達目標2	栄養指導の方法と技術について理解する。	61%	35%	4%	0%	0%	0%
	到達目標3	栄養カウンセリングについて理解する。	61%	30%	9%	0%	0%	0%
	到達目標4	行動科学理論に関する基礎的な用語を理解する。	54%	37%	9%	0%	0%	0%
	到達目標5	ライフステージ別の食行動上の問題点を把握し、栄養教育のポイントを理解する。	67%	32%	2%	0%	0%	0%
調理学	到達目標1	調理による食品成分の変化を理解する。	49%	38%	9%	2%	0%	2%
	到達目標2	食品の調理性を理解する。	47%	42%	8%	2%	0%	2%
	到達目標3	調理操作、調理機器の特徴を理解する。	43%	45%	9%	0%	0%	2%
食事設計実習	到達目標1	対象の諸条件にあう食事摂取基準が求められる。	57%	39%	2%	0%	2%	0%
	到達目標2	食品成分表を正しく使用することができる。	64%	32%	0%	2%	2%	0%
	到達目標3	食品構成および食品群別摂取量の意味を理解し、使用することができる。	55%	41%	2%	0%	2%	0%
	到達目標4	栄養価が正しく算出でき、その結果を評価できる。	61%	34%	4%	0%	2%	0%
	到達目標5	献立作成の手順と留意点を理解した上で、給食や日常食の献立が立てられる。	43%	52%	2%	2%	2%	0%

科目名	到達目標		到達目標達成度					
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効
調理の基本 I	到達目標1	専門職業に関わる技能の習得のために、食材の知識及び調理器具の使用法を知り、調理理論に裏付けされた調理法及び調理技術を体得させることを目標としており、基本的な調理技術の体得、日本料理の献立を作成するための基礎知識とその調理法及び盛り付け方の技術を習得する。	53%	36%	2%	2%	0%	7%
	到達目標2	包丁技術向上のため切り方(せん切り・小口切り)を身につける。(実技試験有)	55%	33%	4%	2%	2%	5%
	到達目標3	基本的な調理技術の体得、日本料理の献立を作成するための基礎知識とその調理法及び盛り付け方の技術を修得する。	42%	47%	2%	0%	4%	5%
応用調理実習 I	到達目標1	西洋料理の調理特性や食材の特徴を理解し、献立への応用力を身につける。	-	-	-	-	-	-
	到達目標2	栄養士として調理作業の処理能力を高め、実践力を習得する。	-	-	-	-	-	-
	到達目標3	一流料理人の洗練された技と知恵を学び、料理技術を理解する。	-	-	-	-	-	-
	到達目標4	山梨の食材を調理実習に用い、食による地域貢献を学習する。	-	-	-	-	-	-
給食運営論	到達目標1	給食の目的、関連法規、給食サービスの流れ等の概要がわかる。	45%	45%	8%	0%	0%	2%
	到達目標2	栄養管理の目的と具体的な方法がわかる。	40%	51%	6%	0%	0%	4%
	到達目標3	衛生的な食事を提供する具体的な方法がわかる。	42%	49%	6%	0%	0%	4%
	到達目標4	食材管理、作業管理、施設・設備管理の目的と方法がわかる。	40%	49%	6%	2%	0%	4%
	到達目標5	給食の諸帳簿、原価管理の概要がわかる。	23%	64%	6%	2%	0%	6%
給食運営実習 II	到達目標1	給食業務の流れを体験し、作業手順がわかる。	77%	21%	2%	0%	0%	0%
	到達目標2	食材料の発注や納品後の検収が行える。	68%	28%	4%	0%	0%	0%
	到達目標3	各種の作業において適切な衛生管理が行える。	58%	35%	2%	2%	0%	4%
	到達目標4	各種の大量調理用機器が使用できる。	46%	35%	9%	5%	2%	4%
	到達目標5	給食に関連した帳票が作成できる。	51%	35%	5%	4%	0%	5%
給食運営実習 IV	到達目標1	栄養士の役割や使命を理解する。	-	-	-	-	-	-
	到達目標2	栄養管理、衛生管理等の給食業務を体験を通して理解する。	-	-	-	-	-	-
	到達目標3	学内で学んだ知識や技術を給食の場で活用する。	-	-	-	-	-	-
	到達目標4	実習を通して専門職に対する意識を高める。	-	-	-	-	-	-
食の科学	到達目標1	基礎的な化学知識を習得する。	22%	56%	17%	0%	4%	2%
	到達目標2	化学計算に従う数処理を理解する。	26%	43%	17%	9%	4%	2%
	到達目標3	食と化学の関わりを理解する。	37%	48%	13%	0%	0%	2%
情報処理演習	到達目標1	パソコンの特性を理解する。	-	-	-	-	-	-
	到達目標2	コンピュータによる情報処理の概念が理解できる。	-	-	-	-	-	-
	到達目標3	インターネットの活用と、情報の取得・選別の手法を習得する。	-	-	-	-	-	-
	到達目標4	プレゼンテーション・情報の発信ができる。	-	-	-	-	-	-
栄養と統計	到達目標1	統計を用いたデータ解析の必要性について理解する。	14%	36%	36%	4%	4%	7%
	到達目標2	統計学の基礎的な用語を理解する。	11%	39%	29%	11%	4%	7%
	到達目標3	表計算ソフトを用いて、生データを処理し、必要な情報を得るスキルを取得する。	11%	25%	36%	18%	4%	7%
栄養士特講 I	到達目標1	栄養士をとりまく社会体制や制度、法律を理解する。	24%	33%	0%	0%	0%	43%
	到達目標2	栄養士をとりまく省庁発表資料等、最新の動向を理解し専門教育科目の学習を深める。	24%	33%	0%	0%	0%	43%
	到達目標3	各教科の要点及び提示された小テストを中心にノートにまとめ、独自の学習ノートを作成する。	29%	29%	0%	0%	0%	43%

科目名	到達目標		到達目標達成度					
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効
衛生法規	到達目標1	基礎的な法知識を習得する。	41%	41%	18%	0%	0%	0%
	到達目標2	製菓衛生師法、食品衛生法を理解する。	55%	36%	9%	0%	0%	0%
	到達目標3	衛生関係法規を理解する。	36%	45%	14%	5%	0%	0%
公衆衛生学各論 I	到達目標1	環境と人とのかかわり、環境要素、環境衛生行政を理解し、環境保全対策について考える。	33%	56%	11%	0%	0%	0%
	到達目標2	大気汚染、水質汚濁の実態を知る。	33%	61%	6%	0%	0%	0%
	到達目標3	地球温暖化、廃棄物や生活環境の健康への影響について理解する。	39%	50%	11%	0%	0%	0%
公衆衛生学各論 II	到達目標1	労働と健康に関わる基本的な知識を習得する。	47%	47%	0%	0%	0%	5%
	到達目標2	労働安全衛生の管理について説明できる。	37%	58%	0%	0%	0%	5%
	到達目標3	各ライフステージの特徴と保険指標や保健行政の仕組みについて説明できる。	58%	37%	0%	0%	0%	5%
食品学総論	到達目標1	食品の人体における機能について理解する。	82%	18%	0%	0%	0%	0%
	到達目標2	食品の種類と分類、各食品の特性について理解する。	82%	18%	0%	0%	0%	0%
	到達目標3	食品の一般成分、嗜好成分、有害成分について理解する。	73%	27%	0%	0%	0%	0%
	到達目標4	微生物を応用した食品について理解する。	64%	36%	0%	0%	0%	0%
食品衛生学総論	到達目標1	食品衛生関係法規と行政のしくみを知る。	35%	57%	9%	0%	0%	0%
	到達目標2	微生物について基礎事項を理解する。	52%	48%	0%	0%	0%	0%
	到達目標3	食中毒について理解し、その対策を学ぶ。	48%	52%	0%	0%	0%	0%
食品衛生学各論 III	到達目標1	食品の衛生的な取り扱いについて理解する。	61%	39%	0%	0%	0%	0%
	到達目標2	施設・設備の管理方法を理解し、衛生的な製造管理能力を養う。	39%	56%	6%	0%	0%	0%
	到達目標3	HACCPについて理解する。	33%	44%	17%	6%	0%	0%
食品衛生学実験	到達目標1	食品衛生検査に必要な基本操作を習得する。	58%	32%	5%	0%	5%	0%
	到達目標2	食品添加物の分析法や微生物検査の経験を通して、食材に対する衛生意識を高める。	68%	21%	5%	0%	5%	0%
	到達目標3	食品取り扱い現場における衛生管理の技術を習得する。	58%	26%	11%	5%	0%	0%
栄養学総論	到達目標1	からだと栄養のかかわりについて栄養の基本的概念、栄養の意義などを通じて理解する。	21%	42%	0%	0%	0%	37%
	到達目標2	炭水化物、脂質、たんぱく質の三大栄養素を取り上げ、それぞれの種類、機能について理解する。	21%	42%	0%	0%	0%	37%
	到達目標3	栄養の消化と吸収について、各器官でのしくみを理解する。	5%	37%	5%	0%	0%	53%
製菓基礎理論 I (洋菓子)	到達目標1	洋菓子の基礎的な製造法について理解する。	61%	39%	0%	0%	0%	0%
	到達目標2	洋菓子の原材料について基礎知識を学ぶ。	57%	35%	4%	0%	0%	4%
製菓基礎実習 I (洋菓子)	到達目標1	洋菓子の基本的な生地作りについての技術を学ぶ。	68%	23%	5%	0%	0%	5%
	到達目標2	洋菓子に使用される機器の取り扱いについて理解する。	68%	27%	0%	0%	0%	5%
製菓専門実習 IV (洋菓子)	到達目標1	洋菓子に関する高度な技術を学び、応用力を養う。	74%	26%	0%	0%	0%	0%
情報処理演習	到達目標1	パソコンの特性を理解する。	-	-	-	-	-	-
	到達目標2	コンピュータによる情報処理の概念が理解できる。	-	-	-	-	-	-
	到達目標3	インターネットの活用と、情報の取得・選別の手法を習得する。	-	-	-	-	-	-
	到達目標4	プレゼンテーション・情報の発信ができる。	-	-	-	-	-	-
調理の基本 I	到達目標1	食材に関わる専門的な知識を得る。	-	-	-	-	-	-
	到達目標2	基本的な調理技術を習得する。	-	-	-	-	-	-
	到達目標3	食器の使用例など食卓の演出方法を習得する。	-	-	-	-	-	-
	到達目標4	基礎的な日本料理、西洋料理、中国料理の調理方法や盛り付け方法などを学習し、食に対する感性を磨くとともに食への創作力を養う。	-	-	-	-	-	-
製菓衛生師特講 I	到達目標1	製菓衛生師資格に必要な専門教育科目でこれまでに修得した知識の定着を図る。	-	-	-	-	-	-
	到達目標2	さらに専門性を高めるために必要な内容を補充し、理解を深める。	-	-	-	-	-	-

科目名	到達目標		到達目標達成度					
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効
教育職の研究	到達目標1	自己の教師像を確立する。	44%	44%	11%	0%	0%	0%
	到達目標2	教育職の特質・責任・専門性を理解する。	56%	33%	11%	0%	0%	0%
	到達目標3	教師としてよりよく成長するための土台としなる知識・技能を身につける。	78%	11%	11%	0%	0%	0%
保育職の研究	到達目標1	自己の保育者像を確立する。	45%	49%	5%	0%	1%	1%
	到達目標2	保育職の特質・専門性を理解する。	53%	44%	2%	0%	0%	1%
	到達目標3	保育者としてよりよく成長するための土台としなる知識・技能を身につける。	53%	42%	3%	1%	0%	2%
教育原理	到達目標1	教育の理念、歴史、思想に関する基本的知識を習得する。	69%	29%	3%	0%	0%	0%
	到達目標2	教育の社会的、制度的、経営的な視点から教育を考察する力を身につける。	71%	27%	3%	0%	0%	0%
	到達目標3	教育問題の構造について基本的な考察ができる。	69%	27%	4%	0%	0%	0%
社会福祉	到達目標1	社会福祉の歴史を理解する。	52%	38%	6%	2%	1%	1%
	到達目標2	社会福祉の理念と意義を理解する。	50%	41%	6%	2%	0%	1%
	到達目標3	社会福祉の法体系と実施体制を理解する。	49%	37%	12%	2%	0%	1%
	到達目標4	社会福祉の各制度を理解する。	48%	42%	7%	2%	0%	1%
	到達目標5	社会福祉従事者の専門性を理解し身につける。	47%	40%	9%	1%	1%	2%
	到達目標6	社会福祉の動向と今後の課題を理解する。	0%	0%	0%	0%	0%	100%
保育原理	到達目標1	保育者として子どもの発達を助長していくために必要な保育の本質と目的を理解し、保育の内容と方法を展開させていくための根本的思考力を身につける。	66%	31%	3%	0%	0%	0%
	到達目標2	「保育所保育指針」における保育の基本について理解し、子どもを理解するための基礎的な知識を習得し、それらを説明することができる。	62%	35%	2%	1%	0%	1%
	到達目標3	日本における保育の歴史や西洋諸国の保育思想などへ知見を広げ、保育の現状を客観的に把握し、批判的に捉えかえすことができる。	60%	35%	3%	0%	1%	1%
	到達目標4	自身の保育に対する考え方を表現することができる。	56%	36%	5%	1%	0%	3%
発達心理学 I	到達目標1	保育・教育・福祉の専門家として、人間の発達に関わる心理学の基礎を習得する。	66%	31%	2%	0%	0%	1%
	到達目標2	保育実践にかかわる心理学の知識を習得し、実習などを通して、理論と実践を結びつけて考察できるようになる。	60%	35%	4%	0%	0%	1%
国語科教育法	到達目標1	新『小学校学習指導要領国語科』について理解できたか。	78%	22%	0%	0%	0%	0%
	到達目標2	国語科の授業づくりについて理解できたか。	44%	56%	0%	0%	0%	0%
	到達目標3	各領域（話すこと・聞くことの領域 書くことの領域 読むことの領域 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）それぞれの「言語活動の工夫等、指導の工夫・について」理解できたか。	56%	44%	0%	0%	0%	0%
	到達目標4	国語科の学習指導案（指導と評価の一体化を踏まえ）の書き方について理解できたか。	78%	22%	0%	0%	0%	0%
	到達目標5	この科目について、予習復習をしたか。	44%	33%	0%	0%	0%	22%
算数科教育法	到達目標1	小学校における算数科についてその目的と、指導内容の構成と配列を理解する。	67%	33%	0%	0%	0%	0%
	到達目標2	算数科4領域の内、特に「量と測定」「数量関係」の2領域の指導方法・評価方法について授業参観や演習を通して理解する。	67%	33%	0%	0%	0%	0%
	到達目標3	授業の計画、実施、評価を模擬授業を通して理解する。	67%	33%	0%	0%	0%	0%
	到達目標4	教育実習時に算数科の授業において、学習指導案を作成し、実際に授業を行い評価する能力を身につける。	58%	42%	0%	0%	0%	0%
音楽科教育法	到達目標1	小学校音楽科指導に必要な知識及び技能を身に付ける。	40%	53%	7%	0%	0%	0%
	到達目標2	教材への理解を深め、歌唱・演奏・音楽づくりの指導法を学ぶ。	60%	40%	0%	0%	0%	0%
	到達目標3	学習指導要領の内容を理解して指導案を作成し、授業を行えるようにする。	33%	67%	0%	0%	0%	0%
図画工作科教育法	到達目標1	小学校課程の図画工作科の目的を理解する。	42%	42%	8%	0%	0%	8%
	到達目標2	低・中・高学年の特徴と、関連性を理解する。	25%	67%	0%	0%	0%	8%
	到達目標3	造形活動に含まれる総合的学習の要素を理解する。	42%	42%	8%	0%	0%	8%

科目名	到達目標		到達目標達成度					
			達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効
保育内容 健康	到達目標1	領域「健康」のねらいと内容について理解する。	73%	25%	1%	1%	0%	0%
	到達目標2	領域「健康」のねらいを達成するための具体的な支援の方法について理解する。	67%	31%	1%	1%	0%	0%
	到達目標3	領域「健康」の内容に関わる基本的に指導・援助を行うことができる。	61%	31%	5%	1%	0%	2%
保育内容 人間関係	到達目標1	乳幼児期の人間関係の発達過程について理解する。	82%	16%	2%	0%	0%	0%
	到達目標2	領域「人間関係」のねらいと内容、発達援助の方法について具体的に理解し、適切な援助ができる。	76%	22%	2%	0%	0%	0%
保育内容 環境	到達目標1	領域「環境」のねらいと内容について理解する。	71%	28%	0%	1%	0%	1%
	到達目標2	領域「環境」のねらいを達成するための具体的な支援の方法について理解する。	68%	30%	1%	1%	0%	0%
	到達目標3	領域「環境」の内容に関する基本的な指導・援助を行うことができる。	63%	28%	3%	1%	0%	5%
保育内容 総合表現	到達目標1	保育の5領域の総合性について理解できたか。	42%	46%	7%	2%	0%	3%
	到達目標2	幼児の豊かな感性を育てるための方法手立てや工夫(絵本の活用・お話人形劇の手法・劇遊び等)は身についたか。	44%	42%	9%	0%	0%	4%
	到達目標3	この教科の予習復習をしたか。	51%	36%	8%	0%	0%	5%
社会的養護内容	到達目標1	社会的養護とは何かを理解する。	53%	43%	3%	0%	0%	1%
	到達目標2	社会的養護における児童の権利擁護について理解する。	44%	52%	3%	0%	0%	1%
	到達目標3	社会的養護の現状と今後の方向性を理解する。	43%	52%	3%	1%	0%	1%
	到達目標4	社会的養護に係る保育士等の倫理について理解し、身につける。	42%	49%	5%	0%	0%	4%
	到達目標5	社会的養護の課題について理解する。	38%	47%	5%	1%	1%	8%
	到達目標6	社会的養護にかかわるソーシャルワークの方法と技術について理解し、初歩的な活用方法を身につける。	0%	0%	0%	0%	0%	100%
	到達目標7	社会的養護と児童家庭支援、地域支援との関係性を理解する。	0%	0%	0%	0%	0%	100%
障害児保育 I	到達目標1	障害児保育の意義を理解する。	68%	31%	1%	0%	0%	0%
	到達目標2	障害についての知識を身につける。	72%	28%	0%	0%	0%	0%
	到達目標3	障害に応じた保育・支援を考える。	74%	25%	1%	0%	0%	0%
	到達目標4	親・家族の気持ちを理解する。	56%	38%	5%	0%	0%	1%
道徳教育の理論と方法	到達目標1	道徳教育について基本的な知識を身につける。	56%	44%	0%	0%	0%	0%
	到達目標2	学校で道徳教育を指導するために必要な技能を身につける。	56%	44%	0%	0%	0%	0%
	到達目標3	道徳教育の理念を理解し、教育者としての責任を自覚する。	56%	44%	0%	0%	0%	0%
教育方法論(幼稚園)	到達目標1	保育方法の基本的な理論を理解する。	46%	45%	4%	0%	0%	4%
	到達目標2	さまざまな保育形態を知り、それぞれの実践に相応しいケースを理解する。	45%	48%	2%	0%	0%	4%
	到達目標3	子どもの遊びとその援助について、方法の基礎を理解し応用の仕方を提案することができる。	50%	43%	2%	0%	0%	4%
	到達目標4	幼稚園におけるコンピューター利活用の実際について理解し、具体的な場面で活かすための実例を提示することができる。	47%	45%	1%	0%	0%	7%
教育相談の基礎	到達目標1	不登校(園)・いじめ等の諸問題の現状と背景を把握する。	69%	28%	2%	0%	0%	1%
	到達目標2	心理検査・面接法と援助理論の基礎を習得する。	58%	40%	3%	0%	0%	0%
	到達目標3	教育相談の実践に必要な援助者の基本的態度を理解する。	58%	35%	3%	1%	0%	2%
相談援助	到達目標1	相談援助の理論と機能を理解する。	59%	39%	1%	0%	0%	2%
	到達目標2	相談援助に係わる基礎的な技術を理解し習得する。	51%	48%	1%	0%	0%	1%
	到達目標3	保育におけるソーシャルワークについて理解する。	46%	43%	4%	0%	0%	7%
家庭支援論	到達目標1	家族の歴史的背景や構造、機能を理解する。	52%	44%	3%	0%	0%	1%
	到達目標2	家庭に対する支援の理論や対策に関する基礎的な知識を修得する。	52%	44%	2%	0%	0%	1%
	到達目標3	子ども・子育て支援法に基づく各種支援を理解する。	54%	38%	6%	0%	1%	1%
	到達目標4	今後の家庭支援のあり方を考える。	49%	47%	2%	0%	0%	1%

科目名	到達目標	到達目標達成度						
		達成できた	やや達成できた	どちらともいえない	やや達成できなかった	達成できなかった	回答無効	
在宅保育	到達目標1	家庭訪問保育の意義や社会的役割、法的責任について理解する。	42%	48%	7%	0%	1%	2%
	到達目標2	子どもの健やかな育ちと家庭訪問保育者の役割について理解する。	52%	38%	5%	1%	1%	3%
	到達目標3	居宅訪問型保育者としての基礎的知識と基礎的技術・ケアを身につける。	42%	50%	4%	0%	0%	3%
	到達目標4	居宅訪問型保育者の特徴や役割を深く認識し、基本姿勢と職業倫理の重要性について理解する。	41%	49%	5%	2%	0%	4%
	到達目標5	保護者（家族）や関係者との連携や協力のためのコミュニケーション能力を養う。	42%	49%	4%	0%	0%	5%
図画工作	到達目標1	造形指導における画材・用具の取り扱いを理解する。	76%	21%	1%	0%	0%	2%
	到達目標2	造形指導における材料・素材の特徴・性質を理解する。	72%	26%	1%	0%	0%	2%
	到達目標3	指導者としての造形の構造・仕組みを分析し応用する力を習得する。	66%	30%	3%	0%	0%	2%
	到達目標4	指導者としての造形活動の過程に含まれる育ち・学びの要素を、自らの製作活動をとおして確認し理解する。	66%	29%	2%	0%	0%	3%
情報処理演習	到達目標1	パソコンの特性を理解する。	-	-	-	-	-	-
	到達目標2	コンピュータによる情報処理の概念が理解できる。	-	-	-	-	-	-
	到達目標3	インターネットの活用と、情報の取得・選別の手法を習得する。	-	-	-	-	-	-
	到達目標4	プレゼンテーション・情報の発信ができる。	-	-	-	-	-	-